

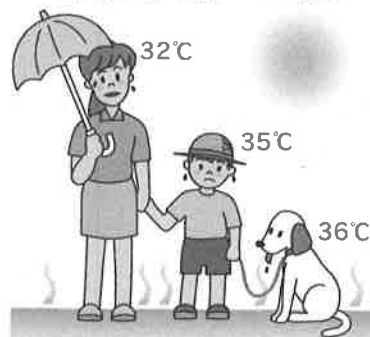
高齢者の注意点

- のどがかわかなくとも水分補給
- 部屋の温度をこまめに測る



- 高齢者は温度に対する感覚が弱くなるために、室内でも熱中症になることがあります。
- 室内に温度計を置き、こまめに水分を補給することを心掛けましょう。

幼児は特に注意



- 幼児は体温調節機能が十分発達していないため、特に注意が必要です。
- 晴れた日には、地面に近いほど気温が高くなるため、幼児は大人以上に暑い環境にいます。

熱中症

～ ご存じですか？ 予防・対処法 ～

こんな症状があったら
熱中症を疑いましょう

軽

めまい
立ちくらみ
筋肉痛
汗がとまらない



中

頭痛
吐き気
体がだるい(倦怠感)
虚脱感



重

意識がない
けいれん
高い体温である
呼びかけに対し返事がおかしい
まっすぐに歩けない、走れない



◆ 環境省 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

◆ 熱中症環境保健マニュアル

http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php

◆ 熱中症患者速報

<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/spot/index.html>

◆ スマートフォン版 環境省 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/sp>



◆ 携帯サイト版 環境省 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/kt>



環境省総合環境政策局環境保健部 環境安全課

〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館

TEL:03-3581-3351 (代表)

環境省